

# ぱーとなー

2007年11月  
第72号

## 耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいたしません

地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

## 一緒に考えよう『低栄養』！！

NST (Nutrition Support Team 栄養サポートチーム) が当院でも 2003 年 4 月より実働しています。日本静脈経腸栄養学会が推進する急性期の栄養管理、日本病態栄養学会が推進する慢性期の栄養管理の両輪が医療に欠かせない大きな流れになっています。「多くの低栄養不良・栄養障害である患者様を救うためには専門的な栄養管理チームが必要だ！」と全国各地で NST 研究が活発に行われています。

アメリカ、シカゴに由来する NST の稼働は、すべての症例に適切な栄養管理を提供し、予後や QOL (Quality of Life) を向上させることを可能にします。更にそれは、病院の医療レベルをより高いものにしていくこととなります。NST 介入による医療の質・機能向上は、同時に医療費の節減や病院経営の改善など多くの経済効果を生み出すとも言われています。

当院の NST は、院長を顧問に Chairman の外科医、Director の内科医と薬剤師・看護師・言語聴覚士・事務・管理栄養士で構成されています。具体的な活動としては、ランチタイムミーティングを 1 回/週、症例検討・ラウンドを 1 回/週、定期的に学習会を 1~2 回位/月、院外の方との公開学習会を実施しております。

毎週抽出される低栄養不良・栄養障害例約 70~80 件を「患者様のためにどうすれば良いか？」医師やコメ



ディカルと一緒に話し合い、問題や課題を共有し、それぞれの職種が役割を果たしていきます。

多くの医療職種に、低栄養・栄養障害の現状を知ってもらう・栄養療法への関心を持ってもらう・啓蒙・教育...から始めました。栄養不良の抽出、アセスメント、介入し栄養管理のツールへと繋がります。重症低栄養例・食欲不振や食思低下例の栄養法、静脈・経腸栄養管理法など栄養ケアをチーム医療で実践してきております。嚥下・摂食障害の症例も多くあります。嚥下咀嚼障害や口腔ケアの学習会から口腔ケア、機能評価と訓練、食事介助の仕方、食事アップの目標やゴールの設定、適切な食事の見直しなどを通じ、栄養管理法を再考する機会となってきました。またこの 4 年間で消化管使用可能な食品経腸栄養剤や特殊栄養補助食品の年次推移増から、院内全体で栄養管理の関心が高まった結果が伺えました。

2005 年度は、ミーティングとラウンドに関する事、システムなどの整備、教育啓蒙の点から推進させました。昨秋日本静脈経腸栄養学会、そして 2006 年度に栄養療法推進協議会より NST 稼働施設に認定、NST 大会の開催にもいたしました。現在、教育認定施設として急がれるところです。

Chairman は「栄養を考えない治療はありえない！」、Director は「もっとみんなで栄養の事を考えたら救われる！」と・・・。一口「ごっくん」を大事にした経口栄養療法・非経口栄養療法のトータルな栄養管理が望まれます。病院だけでなく地域で栄養障害があると、入院されてから栄養改善せず、入退院繰り返しの悪循環につながります。今後も多くの方と共に連携して共に、これらの栄養の問題を考えていきたいと思っております。在宅医療ケアの NST も、各地で設立されつつあるようです。今後ともよろしく願いいたします。

耳原総合病院地域医療室  
電話 072-241-0324  
Fax 072-241-0208  
Fax 072-241-0670  
受付時間 月・水・金 午前9:00~午後7:00  
火・木 午前9:00~午後5:00  
土 午前9:00~午後1:00

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返し F A X にて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報を F A X して下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。